

序

別所正利先生は、天才的な閃きと、先見的な独創力と、更に巧緻な理論を駆使した論文でつとに有名であり、船舶工学のみならず、広く海洋工学、流体力学、空気力学、波動工学、音響学等の分野で多大の貢献をしておられます。

その論文の中には、中世ならば妖しい魔術を使うものとして、焚刑に処せられたのではないかと思うほど、奇想天外な着想に基づく素晴らしいものがあります。

先生の論文は時に余りに独創的且つ難解であり、また物事の根本理念を含むものであるため、造船学会の論文としては不適當で、応用数学会とか、応用物理学会に出した方がいいとして、論文審査で不採用になったこともあると聞いており、そのためもあって発表をためらわれたり、着想を温められたままにしたものが多数あると聞いております。

この度、先生の定年退官を記念して、紀要論文30編、及び未発表の覚書11編が刊行されることになったのは、誠に喜ばしい限りであります。読者は、この本を注意深く読むことにより、先生の思考の跡をたどることが出来、また未研磨のダイヤモンドのような貴重な着想や理論の種を発掘、応用できるものと期待されます。

船舶工学、海洋工学、流体力学、空気力学、波動工学、音響学等の研究者、専門家必読の書として、心からお勧めする次第であります。

東京大学名誉教授

長崎総合科学大学元学長

シップアンドオーシャン財団理事

元良 誠三